

X 議事録および評価委員講評

第1回 昭和56年度 厚生省心身障害研究

「小児慢性疾患（内分泌、代謝、血液系）に関する研究班」

総括班会議

日 時 昭和57年3月

場 所 東京ステーションホテル

次のような次第で、各班の昭和56年度の研究業績が報告され、それについて活発な討論があり、また、評価委員からの質問があった。

1. 代謝性蓄積症の実態と予後に関する研究
北川照男（日本大学小児科）
2. 代謝異常症の新しいマス・スクリーニング法の開発的研究
森山 豊（東芝中央病院） 成瀬 浩（国立神経センター）
3. 先天代謝異常症早期発見例の予後に関する研究—治療指針の見なおし—
多田啓也（東北大学小児科）
4. 慢性甲状腺機能障害の疫学と予後に関する研究
中島博徳（千葉大学小児科） 入江 実（東邦大学内科）
5. 先天性副腎皮質機能障害の治療と予後に関する研究
諏訪城三（神奈川県立こども医療センター）
6. 若年型糖尿病の生活指導指針（治療指針を含む）に関する研究
日比逸郎（国立小児病院小児科）
7. カルシウム代謝異常の実態に関する研究
松田一郎（熊本大学小児科）
8. 血友病および慢性血小板障害の実態と治療基準の設定に関する研究
福井 弘（奈良県立医科大学小児科）
長尾 大（神奈川県立こども医療センター血液科）
9. 口蓋裂による咀嚼障害に対する矯正治療の研究
三浦不二夫（東京医科歯科大学歯学部矯正科）